

## HM講習

27年度第6回ヘリテージマネージャー(HM)育成講習会がこのほど、福島市の県建設センターで開かれ、県建築士事務所協会の建築物耐震診断判定委員、耐震改修評価委員を務める佐藤信一氏(佐藤構造設計事務所代表)が「歴史建造物の修補計画」と題して①精密診断による耐震診断の解説②東日本大震災による建物の現状③限界耐力計算による建物の診断について講義した。

耐震診断の方法は、一  
般の人がチェックシート  
で簡易に分かる「誰でも  
できる」が家の耐震診  
断、県補助による住宅  
耐震診断などで使われる  
「一般診断法」、住宅・非  
住宅の両方で建築士が使  
う「精密診断法」の3種  
類があり、一般診断法は  
住宅と、住宅に近い形状  
の建築物(階高が3層以  
下)、ほかは住宅・非住  
宅のいずれも使用でき  
る。精密診断法はさらに

### 使い方一つで有用に

限界耐力計算法  
佐藤氏が講師  
耐震診断の事例学ぶ

物により方法が異なる。  
最後に地盤・基礎の診断  
を検討すべき注意項目と  
して加える。  
例えば1階が和室8畳  
2室、2階が和室8畳の  
簡単なモデルで計算する  
このほか東日本大震災  
での被害建物事例などを



解説する佐藤氏

な壁の長さが1階は  
9・34層となるが、耐  
震診断(精密診断)は  
6・49層、限界耐力計  
算だと5・46層となり  
有利となる。これは、  
新築の壁量計算は総2  
階を想定しており、実  
は「過剰」となってい  
るため「難しい」とい  
われ現在あまり使用され  
ない限界耐力計算も、使  
いが分かれば有用」とし  
た。